

ボランティア通信 No.9

～特集：戸塚中～

ボランティア活動という貴重な時間

英語英文学科 4年 山田 美沙

内容

・ボランティア活動という貴重な時間

山田 美沙

・ボランティア体験記

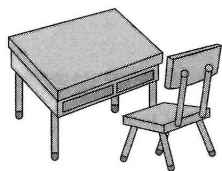
藤沢 宏仁

・戸塚中学校でのボランティア体験

合羽井 淳仁

・生徒は本当にさまざま

永佐子 奈有



私は3年の春休みに入る頃、戸塚中学校でのボランティア活動をスタートさせました。ボランティアを始めたきっかけは後期末に行われていたボランティア説明会に出席したことでした。教員を目指して教育の現場でボランティア活動することは前から興味があり、さらに説明会で先輩方のお話を聞いて、ボランティアへの意欲が湧いてきました。実家が戸塚区にあることから戸塚中学校に行くことを先輩から勧められ、さっそく活動を始めました。

2007年度までは、保健室登校の生徒の学習サポートの活動が中心でしたが、その後年度が変わり、3年生のみんなも無事卒業し他の生徒もクラスに戻ることができたことにより、ボランティアの活動内容も変わっていきました。現在は今までも何度か行っていた個別学級へのサポート活動や、英語の授業を見学しサポートをさせていただける活動を行っています。個別学級（8組）の活動では、まだまだどのように動いたほうがいいのかわからず戸惑うことが多くあります。生徒一人一人に個性や特徴があり、どの生徒にどのような支援が必要なのかということは日々勉強であり、いろいろな行動や表情からも少しずつ読み取っていかなければならないと思います。そして、何より先生方との連携を大切に、わか

らないことは聞き、私自身が気づいたことを伝えるなど、コミュニケーションを取ることが必要だと感じています。8組の生徒はみんなとても明るく、最初に8組に参加したとき、まだ緊張していた私に生徒のみんなから声をかけてくれたことがとても嬉しかったことをはっきりと覚えています。

また土曜日には「土曜学校」という、勉強をしに来ている生徒のサポートをする活動も行っています。この活動は基本的には担任制となっていて私は3年生の女子生徒の担当をしています。英語を苦手としている生徒さんなので英語の勉強を主に進めています。2時間集中して勉強することはとても大変なことだとは思いますが、それでもがんばっている生徒の姿を見ることで私自身もがんばれなくてはと感じ、パワーをもらっています。

ボランティアをすることで、実際の教育の現場に立つことができることはもちろん、多くの生徒と関われることにより、大学で勉強しているだけでは学べないことも多く学ぶことができます。ボランティアを始めてまだ半年なので、これからも積極的に活動に参加し、生徒や先生方とコミュニケーションを図り、貴重な経験を積んでいきたいと思っています。

ボランティア体験記

法律学科 4年 藤沢 宏仁

はじめに

私は昨年度の11月から、横浜市立戸塚中学校で学校ボランティアの活動をさせていただいています。主な活動内容としては、昨年度の11月から3月までの間は保健室登校の生徒たちの学習支援を行うことでしたが、新学期が始まると、生徒たちは、みんなクラスに復帰できたということで、その活動の必要もなくなり、現在では土曜日の午前中に生徒たちと勉強する「土曜学校」というものに参加しています。

1、保健室登校の生徒の学習支援について

私は「保健室には心にもいろいろな課題をかかえている生徒たちがいる」という話を聞いていたので、正直初めはかなり緊張していました。しかし、実際に接してみると、とても明るく話好きな生徒たちばかりで、ごく普通の中学生となんら変わりはないように思えました。大切なのは思いきってこちらから話しかけることです。特に「趣味とかある？」といったように、生徒が興味・関心をもっていることについて聞き入っていくと、相手も自分の好きなことについて話すわけですから、それだけ会話はずみずみです。このように生徒の興味・関心に共感していくことが、人間関係の構築になり、さらに生徒理解にもつながっていくと思いました。

2、土曜学校について

土曜学校では、ボランティア学生1人と中学生2、3人で1グループとし、個別指導のかたちで授業を行っています。私は、初め「生徒た

ちにちゃんと教えなければならない。」という姿勢で取り組んでいました。しかし、この考え方は間違いでした。このような姿勢であったため、生徒から質問されたことについてはすべて答えられなければならないというプレッシャーにおしつぶされそうになりました。そこで考え方を換え、「生徒と一緒に勉強する」「生徒と一緒に自分も成長していく」という姿勢で取り組むようにしました。すると、こうした考え方ひとつで世界がガラッとかわり、生徒と一緒に勉強することが楽しくてたまらなくなりました。また勉強する際、生徒が考えている、私とは違ったものの見方、感じ方を知ることでもでき、本当にいい経験になっています。今では土曜学校が待ち遠しいほどに感じており、毎日だって生徒と勉強していきたいと思っています。

おわりに

学校ボランティアでは大学の授業では決して学ぶことのできない沢山のものが得られると思います。特に教職を目指している人は絶対に参加すべきです。私も、これからもっといろいろなものを学び取っていきたくて考えています。



戸塚中学校でのボランティア経験

法律学科 3年 合羽井 淳仁

私が横浜市立戸塚中学校での学校ボランティアに参加することになったきっかけは、今年の1月に大学内で開かれた「学校ボランティア交流会」に出席したことです。その時、同じく出席していた人の中に戸塚中学校で学校ボランティアをなさっている先輩たちがいらっしやって、その方々から「やってみては」と勧められたのが始まりです。

私は以前にも学校ボランティアを経験していましたが、それはほんの数日間でしたので、今回は長期的にやってみようと思えました。そして今年度は教育実習もあったので、今の学校現場を少しでも学べるという気持ちも思っていました。

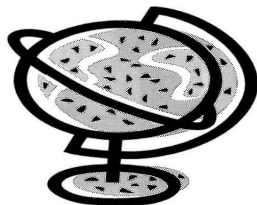
今年の2月から戸塚中学校での学校ボランティアをスタートさせ、まずは「保健室登校」の生徒と接することから始まりました。この「保健室登校」も今の学校現場の一つとしてとても良い経験をする事が出来ました。

年度も変わり4月からは、毎週月曜日に行くことにし、主に個別支援学級のお手伝い等をさせて頂き、毎週土曜日は「戸塚 実り隊」へも参加させて頂くことになりました。月曜日は午前8時頃登校し、4時間目が終わる午後12時40分頃まで活動させて頂いています。個別支援学級の生徒をサポートしつつも、諸先生方の様々な授業を拝見出来てとても勉強になっています。もちろん個別支援学級の生徒とどう接したら良いのかなど悩んだりもしますが、担当の先生とお話

をしたり、直接生徒本人と向き合って生徒を理解しようとして取り組んでいます。一方、土曜日は午前9時30分から午前11時30分まで生徒と一緒に各々の課題に取り組んでいます。私は社会科が苦手な3年生の生徒と共に、最初の1時間は地理、もう1時間は歴史を勉強しています。「他人に教える」というのはこんなにも難しいのか、と悩んだこともありましたがこの「実り隊」に参加しなければ痛感しなかったでしょうから、とても良い経験になったと思っています。

これらの経験を踏まえて、先月母校の高校で3週間の教育実習をしてきました。初めの数日間、他の実習生は生徒とのコミュニケーションに少し悩んでいたようですが、私は割とすんなりコミュニケーションを取ることが出来ました。実習初日に恩師から「自分が分かっていないと教えられない」という言葉を頂きました。この言葉は上記の他人に教える難しさと同義だと思います。この頂いた言葉を念頭に、教材研究を多くして日々の授業に臨んでいました。3週間という短期間ではありますが、学校現場の一端を垣間見ることが出来ました。

戸塚中学校や教育実習で得られた経験は教員志望の私にとって、かけがえのない貴重な財産となりました。



生徒は本当にさまざま

英語英文学科 3年 永佐子 奈有

私は今年の2月から、戸塚中学校で学校ボランティアをさせていただいています。

当初は、保健室に登校してくる生徒と一緒に勉強をしたり、話しをしたり、相談にのる、ということを通じていましたが、私が戸塚中学校に行くときは、保健室登校の生徒がお休みのことが多かったので、特別支援級のクラスを見学させてもらっていました。

そして4月からは、保健室登校の生徒がいなくなったので、特別支援級の授業の手伝いをさせていただいています。1年生が新たに加わったクラスで、さらに明るく賑やかなクラスになった気がします。一緒に授業をしていて感じることは、3年生がお手本となり、1・2年生を見守り、2年生はクラスをまとめ、1年生はクラスになじむことを頑張っている、ということです。苦手な数学に取り組んでみたり、個々で絵を描いたり、体育で卓球をしたり、外の花壇に苗を植えたりする中で、一人ひとりが色々なことに気が付き成長していくのが分かります。

先生方が、決して生徒を甘やかしたりせず、生徒が自分でできるように授業をしているし、してはいけない悪いことはきちんと注意し、頑張ったときには褒めることをしているから生徒が伸びるのではないかな、と思っています。

また、普通学級の授業を見学させていただくこともあります。私が見学したのは理科と数学の授業で、自分の専門教科とは違ったのですが、実際の授業中のクラスの雰囲気や生徒の様子、先生がどのように生徒と接するのか、授業はどう進めて行っているのか、などを見ることができました。

私は土曜学校「実り隊」にも参加させていただいています。土曜日は、普通の授業では質問できないところや、苦手な教科をさかのぼって勉強したい生徒たちがきます。「実り隊」は私たち大学生の他に地域の方々もいらっやっやと一緒に生徒たちと勉強をします。図書室で勉強するので、クラスとは違い、一人ひとりの生徒と関わって丁寧に問題を解いていけて、楽しい雰囲気勉強できる、戸塚中学校の良いところの一つだと思います！！

戸塚中学校に通ってみて、生徒がたくさんいて様々であることを改めて実感しています。生徒と接するなかで、個々の特徴がすぐつかめなかったり、生徒にどのような対応をしたら良いのか戸惑うこともあります。私的判断で勝手に行動せず、わからないことは先生方に質問してクリアしていきたいと思っています。

戸塚中学校に行くごとにいろいろな場面に出会うことができ、それが私の貴重な経験であると思っています。私はこの経験を生徒や私の身の回りの人に活かし、より良い人間関係を築ける人になり、将来につなげていきたいと思っています。

神奈川大学教職課程指導室

電話：045-481-5661

FAX：045-413-4154

Email：educ@kanagawa-u.ac.jp

